

“ふるさと”

金城 洋樹

本校に勤め、15年が経ちました。最近、色々なことを振り返り、反省し、今後に向けて決意を新たに気を引き締め直しているところです。

私の地元は南風原ですが、数年前から、地元の先輩方から声をかけていただき、地域の活動に参加させていただくことが増えました。町の体育協会の野球専門部の監督であったり、少年野球の事務局や自治会の評議委員などです。私の育った自治会は昔から子供会活動が盛んで、資源ゴミ回収や夏のキャンプ、ムーチー作りなど様々なイベントがあり、これらの活動を通し、協調性や主体性など多くのことを学ぶことができました。ですから、中学卒業する頃には、いつかは地元に貢献したいと強く望むようになりました。それが最近、恩返しのお場をいただくことができ、正直、忙しく辛いときもありますが、また、僕が小学校、中学校で感じたように今の子供達が将来地域に貢献したいという思いを少しでも持ってくれると良いと考えています。

私が、本校の採用試験で当時の校長先生に言った言葉を最近よく思い出します。「私は地元南風原に誇りを持っています。私学の魅力として学習面だけでなく、バラバラの地域から通う生徒にとって学校はふるさとのような存在だと思います」

将来、卒業した生徒たちがお子さんを本校に通わせるような魅力ある学園でありたいと思います。そのときには、本校が生徒等にとっての“良きふるさと”になったと感じることができるのではないのでしょうか。



子供らしいところもあって、ホッとしました

校長 夏見隆晴

わたしにとって、三月という月は、学園を巣立っていった高校三年生の一人ひとりを思い浮かべながら、これから人を引き付けた「子供らしいところ」を残しながら、大人として活躍の場を広げていって欲しいと願う、言わば「祈りの日々」が続きます。今月の「表題」は、「マララさん、品行方正な優等生かと思いきや、子供らしいところもあって、ホッとしました」と語ったNHK解説委員の道傳愛子さんの言葉です。道傳さんはカトリックの大学で学ばれた方で、その考え方には、あのキリストの言葉「子供のようにならなければ、決して天の国に入ることはできない」という一句があったのでしょう。

親や教師である大人は、もちろんわたしも含めてのことですが、「いつまで子供のような事をしていいのか」と叱責の言葉を発します。けれども、はたしてこの言葉は、よく考えられたうえで発せられたものでしょうか。多くの場合、それはステレオタイプなものであって、生きた言葉としては相手に届かないので、あまり効果を齎さなかったという苦い体験をした記憶が、わたしにもあります。このような場合には、わたしたちも少しばかり子供時代に立ち帰ってみて、工夫したうえで別の言葉にするのが有効かもしれません。そうすれば、今までとは異なった視点で、相手を見る余裕が生まれてくることでしょう。

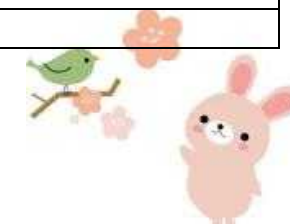
先日、真栄原カトリック幼稚園の「楽習発表会」に招かれ、そこで素晴らしい歌、楽器演奏、オペレッタの演技などに感心させられました。それは本当に素晴らしい出来栄でした。わたし自身の幼稚園時代を振り返ってみて、その違いには文字通り隔世の感がありました。勿論その違いの由来は、テレビ等の影響で音感が良くなっていることが挙げられると思いますが、それ以上に日ごろの先生方のご指導にあるとわたしは考えています。カトリック幼稚園の先生方は、「皆さんのお歌を神様はたいそう喜びになって聴いてくださっていますよ」と常日頃教えてくださっているからだと思います。園児たちは、その教えを素直に信じて行動に移しているのです。だから素晴らしいものになっているのです。

ところで、わたしたち大人が考えている成長とは、真の意味で成長と言えるのでしょうか。素直さを幼稚ととらえ、世間知から取り残されることを恐れるがゆえに、声を挙げることを控え、与えられた能力さえ恥として、進歩することを中止するような人間を良しとしているのではないのでしょうか。でもこのような人間の姿は、わたしたちが本当に望んでいることではありません。わたしたちは年齢を重ねながら、本当は純真であった子供の日々をなつかしく思い出しています。ただあの日に帰る勇気がないので、いろいろな理由をつけて日々を過ごしている場合が多いのです。「子供のようになる人が、天の国でいちばん偉いのだ」というイエス・キリストの言葉を、今一度考え直してみましよう。

3月の予定

日・曜日	行事計画
4日(水)	答案返却日 職員会議 完全下校16:30
6日(金)	駿台模試 高校1年、2年生
7日(土)	総合 数検 中学3年生武道大会(1~3校時)
10日(火)	職員会議 完全下校17:00
11日(水)	職員会議 完全下校16:30
19日(木)	大清掃 生徒会レク
20日(金)	修了式 オリエンテーション
23日(月)	高校1・2年生春期勉強合宿 ~27日(金)

高校後期入試(A日程3月14日、B日程3月19日)



生徒の活躍！



第35回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール

小物インテリア作品部門

優秀賞 中学2年生 岡本 結

佳作賞 " 外間 栄美

佳作賞 " 大城 アリナ 姫花

優秀賞 高校1年生 高 健、上江洲 まりの、上原 凜、謝花 由紀子、
長浜 有希、比嘉 純麗、外間 遥陽

佳作賞 高校3年生 村口 明日香

努力賞 " 田盛 純菜



出品者全員が入賞しました。佳作賞は3位、努力賞は4位となります。全国から数千点の応募があり、その中から4位までの入賞は嬉しい成績となりました。

